

厚労相「マイナ保険証一度使つて」「いつ使つて」

厚生労働省が「マイナ保険証、一度使ってみませんか? キャンペーン」を進めています。この開いた関係団体との意見交換会で、利用促進用のポスターをお披露。武田敏三厚労相は「一度使ってみれば、確実にメリットについて実感が湧く」と胸を張ってみせ、各団体に協力を呼びかけました。キャンペーンはデジタル手

利用数は3カ月連続減

と連携して実施。10月は医療機関向けの「マイナ保険証活用セミナー」を行なう予定です。公立・公的病院にはポスター掲示など利用促進を図ります。市町村役場などでも住民向けの利用体験会も随時開いています。

があるまでは、トラブル続きのなか、「マイナ保険証」による医療機関や薬局での資格確認件数は80万件ほどで3カ月連続の減少。現行保険証を含めた金額で計算すると、利用は4・7%にすぎません。

武田厚労相は「ひもだけ(笑)とかわまやまな不安材料があったのは事実」としながら、利用にはメリットがあると主張しました。団体側も「関わらより慣れよ」だ。使い始めることが大事だ

たが、国がメリットとして挙げてくる「受診情報などの閲覧・共有」には、これまでの意見交換会でも「現在のシステムでは情報の即時性がない」「生きた情報ではない」と指摘されています。

医療現場で活用されていなかった「日本病院会」と書類が提出されています。たゞ利用件数が増えたとしても、本人確認工場や窓口負担割合の誤表示など「トラブル件数も増えたのが大きい」とみられます。

背景には、来年秋に狙つ現行の健康保険証の廃止に直結する一方で、「マイナ保険証」の利用が逆に減っている実態

(健保組合連合会)とバッパをかけました。